

自然の家だより

令和8年
10月1日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

10月に入り、自然散策やキャンプなど、野外活動のベストシーズンを迎えました。
一方で、秋はスズメバチやツキノワグマ、マムシなど、冬眠前の危険生物が最も活発化する警戒シーズンでもあります。

今号では、みなさんが安全・安心に野外活動を楽しんでいただくための「秋の危険生物対策」をご紹介します。
正しい知識を身につけ、秋の豊かな自然を満喫しましょう！



①スズメバチ・アシナガバチ

9～10月は巣が最大化し、新女王蜂を育てるため、防衛本能・攻撃性が最も高まります。

予防策 黒い服・帽子は避ける！

対処法 手で追い払わず、静かに後退！



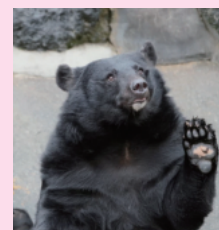
- ・黒色(髪の毛や服など)を敵とみなして攻撃します。・威嚇音(カチカチ音)が聞こえたら、白色や明るい色の服や帽子を着用しましょう。・刺されたらポイズンリムーバーで毒を抜き、流水で洗います。

②ツキノワグマ

10～11月は冬をこえるための蓄えの時期となり、食べ物を求めて広範囲を移動します。

予防策 音を出して人間の存在を知らせる！

対処法 走らず、ゆっくり後退！



- ・くま鈴やラジオ、話し声などで存在を知らせます。・走って逃げると追ってきます。・生ごみや食べ残しなどのにおいに寄ってくるため、目をそらさず後退してください。・詳しくは、「自然の家だより421号」を見てください。

③マムシ・ヤマカガシ(毒ヘビ類)

5月頃から10月頃まで活発に活動します。草むらや倒木付近、水辺に潜んでいます。

予防策 むやみに草むらへ入らない！

対処法 見かけても近寄らない！



- ・足元が見えにくい茂みや倒木の下、石の隙間に手を。・つついたり、近づいたりしないでください。・かまれたら、安静にして救急車を呼ぶか、すぐに病院を受診するようにしてください。

④マダニ

草むらなどに生息し、深刻な感染症を運んで広める危険な生き物です。

予防策 肌の露出ゼロ！

対処法 無理に引き抜かず皮膚科へ！



- ・長袖・長ズボンを着用し、肌の露出をなくしましょう。・無理に肌から抜くと、口器が残り膿がたまります。・ディートやイカリジン配合の虫よけを使用しましょう。触らずにそのまま皮膚科を受診してください。



危険生物の生態を正しく知り、しっかりと事前準備をして秋のフィールドへ出かけましょう！
マナーを守って、すてきな秋の思い出をたくさん作ってくださいね。